

ふるさと篠山に思いをはせて



神戸大学大学院農学研究科に所属し、篠山市で地域インターンシップの調査・研究を行っています。篠山は、阪神間からアクセスが良く、自然豊かで食べ物もおいしく、文化的にも歴史があり、魅力的なまちだと思います。今後も、活気と魅力あふれるまちになってほしいですね。

篠



昨年からクレープ屋をオープンしました。出店してあらためて思うのは、篠山の皆さんは本当に温かい方ばかりだということ。今後は、クレープを通して篠山の良さを伝え、地域イベントにも参加し、篠山をもっともっと盛り上げたいですね。



篠山に帰ってきてみて、とても便利だったので驚きました。やっぱり地元は、友だちが多くて楽しいですし、昔から知っているのが安心感があります。他県にもいい所はありますが、自分が生まれ育ったところがいちばんですね。

番



篠山で働きたいと思い、山口県からターンでやって来ました。現在は、豊かな自然と歴史あるまちならではの企画や体験を通じ、篠山の古き良きことを発信しています。今後も、地域の皆さんと「子ども」をキーワードに篠山を元気にする活動を続けていきたいと思っています。

山



篠山は春の桜、夏のデカンショ祭、秋の味覚など四季が感じられる良いところですね。篠山が子どもたちや高齢者の皆さんにとって、安全・安心なまちであり続けることを願うとともに、世代を超えた交流の輪を広げていきたいと思っています。



ふるさと
住もっつ
篠山
帰るっつ

ふるさといちばん!



ふるさと篠山 日本一

市民の皆さんへ

皆さんは、ふるさと篠山の暮らしにどのようなイメージをおもちですか？京阪神の近くにありながら、豊かな自然と住民同士の助け合いが今なお残る、恵まれた生活環境にあると、私は考えています。

かつては、田舎の代名詞としてマイナスイメージもありましたが、交通網も整備されましたし、特産物のブランド化や緑豊かな自然と伝統文化の良さが見直され、今では多くの人々のあこがれの地になり、誇らしく胸を張れるまでになりました。

しかし、長い間、都会へと目が向き、学校を卒業すると都市部に出て行く風潮がありました。

そこで、「ふるさと篠山へ帰ろう住もう」を合言葉に、【若い人の定住、子育てしやすい地域づくり、定年後のUターンや田舎暮らしのススメ】など、この取り組みを全市民挙げての運動として広げていきたいと考えています。

そのためには、まず住んでいらっしゃる皆さん1人ひとりが、篠山の魅力を再確認してPRしていただくことが大切です。私もその先頭に立ってセールスしていきますので、皆さんも一緒をお願いします。ふるさと篠山のために共にがんばっていきましょう。

篠山ファンの皆さんへ

これをお読みにになった皆さん、篠山の地で夢をかなえてみませんか。そして、日本一のふるさと篠山づくりに力を生かしてみませんか。篠山は皆さんの力を必要としています。いろいろな取り組みで、皆さんの篠山暮らしを応援していきますので、ぜひともお越しいただき、共にふるさと篠山を盛り上げていきましょう。

篠山市長 酒井隆明

―篠山への誇りを胸に―

ふるさと篠山づくりがスタート

篠山市では、定住人口増加対策の1つとして、「ふるさと篠山へ帰ろう住もう運動」に取り組んでいます。

このたび、12人の市職員で構成するプロジェクトチームを立ち上げ、中間報告を取りまとめました。

ここでは、「ふるさと篠山へ帰ろう住もう運動」で取り組む具体的な内容をお知らせします

■問い合わせ

政策部企画課 ☎552551006

篠山暮らしのススメ

プロジェクトチーム推奨！

- ほんものの食材があります
- 春には春の、夏には夏の、秋には秋の、冬には冬の色彩があります
- わずか1時間で京阪神へ。休日は、歴史と文化に囲まれ、自分らしく豊かな時間が過ごせます
- 自然の恵みと地域の愛情で、感受性豊かな子どもに育ちます

プロジェクトチームの設置

「ふるさと篠山へ帰ろう住もう運動」を行政はもとより、広く市民運動としていくための具体策として、調査・研究や、企画・提案していくために、市の若手職員(12人)で構成するプロジェクトチームを平成19年6月に立ち上げました。

このチームでは、人生におけるライフイベント、特に転居のともなう可能性の強いライフイベント(ご入居)を考えた上で、切りのよいタイミングで「Uターン」の推進に重点を置き、3つの世代を中心にグループ別に調査・研究に取り組んでいます。

具体的な取り組み状況

11月13日には市長、副市長、教育長に対し、中間報告を行いました。また調査段階で、まとまった報告書で

はありませんが、比較的すばやく取り組めようものを中心に、平成20年度予算を見据えた提案としていきます。

中間報告の主な内容

リクルート世代グループ(20歳代前後)

- 定住、就職への土台整理→市内の労政政策に関する組織の整備や強化
- 就職情報、市内および通勤圏内の企業情報の発信→篠山に定住、就職したい方への情報発信や支援の強化、ホームページの整備

子育て世代グループ(30歳代前後)

- 伝統芸能やお祭りを通じた地域の人々との交流→丹波篠山築城400年祭における伝統芸能、祭礼のクローズアップなど
- 教育問題・教育環境→複式学級、統廃合問題、幼保一元化などを地域全体で語り合う場の提供

団塊世代グループ(50歳代～)

- 篠山出身者へのUターン定住の推進→篠山出身者への市長・幹部によるトップセールス
- 移住希望者への定住の推進→市民と移住希望者の座談会「篠山に住もうザ・団塊(座談会)」の開催。移住希望者に対して「篠山体験宿泊」や「篠山体験バスツアー」の開催

全体的な取り組み

- 市全体を巻き込んだ運動の推進→ロゴマークの作成と活用。また、協賛団体の募集
- 定住推進に向けた組織の設置→「ふるさと応援団」の結成や「篠山暮らし総合案内所(仮称)」「帰ろうか・住もう課」の設置、「ふるさと基金」の設置

全市的な取り組みに向けて

この提案を受けて、市では施策化の検討をしていく予定です。市民の皆さん、ふるさと篠山づくりへの協力をよろしくお願いします。

なお、これらの詳細は、市のホームページ(<http://www.city.sasayama.hyogo.jp/sctkikaku/fk.html>)で公開しています。